

# スポーツ推進委員の推薦に関するQ&A

## 《Q1》 調布市スポーツ推進委員会とはなんですか？

調布市におけるスポーツの推進のため、事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うものです。地域と行政のパイプ役としての役割や、行政とタイアップして市のスポーツ事業の企画・運営などを行います。

## 《Q2》 根拠法令等がありますか？

国の法律である「スポーツ基本法」第32条に基づき、「調布市スポーツ推進委員に関する規則」を定めて職務・報酬等を規定しています。

## 《Q3》 身分・任期及び報酬はどうなっていますか？

身分は調布市非常勤特別職の職員となり、任期は2年間です。  
報酬は月額15,400円で、毎月20日に御指定の口座に振り込みます。

## 《Q4》 構成はどうなっていますか？

小学校長等の推薦による学校関係者（市立小学校20校から各1人）、調布市レクリエーション研究会から1人推薦をいただいています。

## 《Q5》 どんな役割があるのですか？

性別や年齢、スポーツの得意不得意に関わらず、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツを紹介・普及することで、市民のスポーツ離れを防止する役割が求められます。野球やサッカー等のメジャースポーツのアスリートを育てる指導者ではありません。

## 《Q6》 ニュースポーツとはなんですか？

ルールが簡単で誰もが気軽に楽しめる、レクリエーション的な要素が強い種目のことです。誰もがスポーツをするきっかけを作る必要性から様々なニュースポーツが開発されています。

## 《Q7》 ニュースポーツの普及のために具体的にどのような取り組みをしていますか？

変形したビーチボールを使用する5人制の「ふらばーるバレーボール」、競技と遊びの要素を共存させた「スポーツ鬼ごっこ」のほか、調布市民スポーツまつりや市内小学校で「ボッチャ」の体験会を開催するなど、ニュースポーツの普及に努めています。

## 《Q8》 運動が苦手な人でも務まりますか？

ニュースポーツのルールを把握し、公平・公正な審判ができる資質さえあれば務まりますし、運動習慣のない人に対して身体を動かすきっかけの提供をしていくうえでは、運動が得意ではない方の意見・視点も貴重です。なお、ルールの把握や審判講習は、必要に応じて自主的に研修会を開催し、習得しています。

《Q9》 男性の方が適していますか？

性別による適性の差はなく、女性委員も大歓迎です。子どもの体力低下やスポーツに縁のない人が増加しているなかで、とりわけ成人のスポーツ実施率は、男性に比べ女性のほうがやや低い傾向にあります。そうした方々へもアプローチしていくためには、ぜひ女性の視点も委員会活動に反映させたいと考えています。

なお、現在は21名の委員のうち4名が女性です。

【参考】別紙：市長メッセージ「女性の視点を市政へ」

《Q10》 なにか課題はありますか？

地域スポーツ振興にあたって、いわゆる「行政主導型」から、住民自らが地域スポーツの振興を推進していく「住民主導型」へ転換してきています。皆様には、地域での中心的役割や、誰でも身近な地域でスポーツを楽しめる環境づくりの役割が期待されています。

スポーツ鬼ごっこライセンス講習の様子



広域地区別研修会での発表の様子



小学校授業内でのボッチャ指導の様子



ニュースポーツ交流会の様子

